

－第17回北海道支部学術集会－

学術集会会長 独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院院長

古家 乾

- ・ テーマ 過渡期の今だからこそ、原点回帰で考える医療マネジメント
- ・ 日 時 2017年10月7日(土)
- ・ 会 場 ホテルさっぽろ芸文館(札幌市中央区北1条西12丁目)
- ・ プログラム
 - ・ 一般演題(一般口演)
 - ・ ランチョンセミナー
- ・ 問合せ先

独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院
総務企画課経営企画係長 上杉崇仁
〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3番18号
TEL 011-831-5151 FAX 011-821-3851
E-mail main@hokkaido.jcho.go.jp
URL <http://17th-jhm.hkdo.jp>

－第16回九州・山口連合大会－

会長 国立病院機構別府医療センター院長 酒井浩徳

- ・ テーマ 今問われる医療マネジメント～急性期から在宅介護まで：パラダイムの転換～
- ・ 日 時 2017年12月1日(金)～12月2日(土)
- ・ 会 場 別府国際コンベンションセンター
B-Con Plaza (別府市山の手町12-1)
- ・ プログラム
 - ・ 基調講演
「日本医療マネジメント学会の活動とこれからの展望」
宮崎久義(日本医療マネジメント学会理事長)
 - ・ 会長講演
酒井浩徳(国立病院機構別府医療センター院長)
 - ・ 招待講演
西太一郎(「いいちこ」三和酒類名誉会長)
 - ・ 特別講演
 1. 荒瀬泰子(福岡市副市長、内科医)
「超少子高齢社会～輝き活躍する女性たちへ～」
 2. 中野俊彦(直耕団吉野診療所所長、日本医師会第1回赤ひげ大賞受賞)
 - ・ シンポジウム
 - 1: 災害医療体制を考える
 - 2: 急性期医療から在宅介護における診療看護師の現状と展望
 - 3: 医療現場における臨床倫理への取り組み
 - 4: 医療と介護の統合：急性期から在宅介護への迅速な移行のために必要な事

※シンポジストは指名ならびに公募します。

・ 教育セミナー

1. 医療安全

笥 淳夫(工学院大学建築学部建築デザイン学科教授)

「患者安全と施設環境」

和田仁孝(早稲田大学大学院法務研究科教授)

「(仮)医療メディエーション」

2. クリティカルパス

・ 市民公開講座

- 1部 本田 美和子(国立病院機構東京医療センター総合内科医長)
「優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード®」
- 2部 帚木蓬生(作家、通谷メンタルクリニック院長精神科医)
「老活(老いてなお活動)で生き尽くそう」

・ 一般演題

・ クリティカルパス展示

演題募集期間：4月25日(火)～8月1日(火)

事前参加登録期間：4月25日(火)～10月13日(金)

・ 問合せ先

国立病院機構別府医療センター管理課長

橋本和明

〒874-0011 別府市大字内かまど1473番地

TEL 0977-67-1111 FAX 0977-67-5766

E-mail kanrikachou@hosp.go.jp

URL <http://www.c-linkage.co.jp/jhmqy16/>

クリティカルパス・ライブラリー

(<http://epath.medis.or.jp>)利用のご案内

－全国医療機関からのクリティカルパスの登録と公開について－

日本医療マネジメント学会と医療情報システム開発センター(MEDIS-DC)では、医療のIT化とクリティカルパスの普及を目的として、医療機関が利用しているクリティカルパスを他の医療機関も閲覧・利用できるシステムを構築し、MEDIS-DCのWeb上に、「クリティカルパス・ライブラリー(<http://epath.medis.or.jp>)」として公開してきました。クリティカルパス作成ソフトもダウンロードして使用できます。

運用はすでに14年を経過し、現在では39施設のクリティカルパス278件が公開されています。2006年度からは、いま話題の地域連携クリティカルパスや閲覧件数の多いクリティカルパスを公開しています。

皆様の医療機関で利用されているクリティカルパスの登録・公開に、ご協力いただけますようお願い申し上げます。